

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
さくら	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の花芽の着生は良好である。 ・積雪が例年より遅く、1月中旬となり、作業は順調に進んでいる。 ・2月の出荷量は、花芽の着生が良好であるものの、前倒しで出荷が行われていることから、前年並みの出荷量が見込まれる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">現状</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">見通し</div> 大田花き FAJ 東日本板橋花き 世田谷花き 第一花き
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・燃油価格が落ち着き、設定温度8～15℃で加温管理が行われていることから、生育は概ね順調に推移している。 ・2月の出荷量は、ほぼ前年並みが見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">現状</div> 初市から各産地数量が多く潤沢だったことから、相場は低調。中旬より冷え込みの影響から数量が落ち着き、引き合いは弱いものの、相場は戻した状況。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">見通し</div> 大田花き 愛知、長野中心にピンク、白、黄は安定した入荷となる見込み。作付けの少ない赤、オレンジは少量の入荷となる。580,000本 @70 FAJ 出荷数量は微増の見込み。ほぼ昨年同様の入荷数量を予定。 東日本板橋花き 愛知・青森・福島・北海道中心の入荷。業務中心の動き。 世田谷花き フェアールイベントで入荷減。引合い安定。 第一花き 入荷も多く無い時期で業務需要中心の流れ。@80
トルコギキョウ	熊本	春期出荷までの端境期となり、出荷は少ない見込み。春期出荷分については順調な生育となっており、2月下旬頃から徐々に数量が増えてくる見込み。夜温が下がってきたことで徐々にプラスチックは少なくなっている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">現状</div> 例年より気温も高く、高線量もある為、主力産地全般に出荷量はある。燃油も下がって出荷できる状況ではあるが、相場が軟調でやや見合わせている産地が多い。輸入に関しても引き続き順調な出荷が続く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">見通し</div> 大田花き 1月同様、国産の主力産地は例年より生育環境良く出荷できる状況ではあるが、相場が引き続き厳しい事が予想されている為、産地が出し渋る状況が続く見込み。 FAJ 関東・四国・九州中心の入荷。プライダル関係の需要増加に伴い、引き合いは安定する見込み。 東日本板橋花き 1月の影響に引き続いて、2月は急激な冷え込みで国産物は少な目。 世田谷花き 先月に引き続き入荷少なめ。台湾産の出荷が終盤になる。 第一花き 業務需要中心の販売。産地・品質格差の単価差は是る。@140

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	千葉	①生育の前進化により1月に前倒して出荷されたものがある上、現在は低温により開花が遅れているため2月の出荷量は平年を下回る。 ②西岬はアイアン(ST)中心で、その他はカルテット・シリーズ(SP)が中心。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 暖冬も影響もあり、露地ストックも例年と比べて上旬より増加傾向。咲きの早いSTも潤沢感があり、葬儀需要も少なく、1月一杯厳しい相場展開の見込み。
		①冷え込みで開花が遅れているが、本年は2月出荷向けの作型の割合が増えていることから、出荷量は少なかつた昨年より増加する。 ②カルテットシリーズが中心。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き 3月の彼岸向けの露地ストックは西南暖地、千葉県産の出荷ピークを見込む。ST、SPIについてもやや端境となる可能性もあるが、現時点では大きく減る見込みなく、昨年と比べ安い相場帯で推移することが予想される。 FAJ 千葉などより入荷。入荷数量は昨年並みからやや少なめの入荷を予想 東日本板橋花き 世田谷花き 暖冬傾向で前進。下旬にむけて入荷増大しそう。 第一花き 入荷状況にもよるが業務需要中心の流れで概ね例年並み@65
バラ	山梨	生育は順調で出荷量も昨年並を見込む。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現状</div> 出荷サイクルの谷間に入り、更に気温低下の影響を受け、出荷量は減少傾向。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> 大田花き フラワーバレンタインに向け、上旬は輸入品が増加傾向となる。特に赤や濃いピンク系は堅調な取り引きが見込まれる。国産は1月が少ない分、サイクル的に増加傾向となる見込み。 FAJ プライダル・プライダルフェア需要で安定した取引が続く見込み。愛知・静岡・茨城中心の入荷。 東日本板橋花き 引き続き静岡、栃木県等暖地主体の入荷となってくる。冷え込み方で入荷が少なくなってくる。輸入品はケニア、インド産主体でコロンビアの巨大輪品種は少なめの見込み。 世田谷花き 入荷はだんだんと増えてくる見込み。引き続き堅調な相場となるだろう。 第一花き 特に需要も無い月だが品種には引き合いがある。ST@100 SP@110